

都市再生整備計画(第2回変更)

藤岡市街地地区

群馬県 藤岡市

平成25年3月

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>■整備方針1 歩行者や自転車に配慮したまちづくりの推進～駅周辺や通学路などでの、安全・安心な歩行者・自転車空間の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・群馬藤岡駅周辺のバリアフリー化や通学路の改善に加えて、北藤岡駅前の駐輪場整備等を推進することで、安全な歩行者・自転車空間の確保を継続する。 ・岡之郷地区地区の(都)藤岡インターチェンジ北口線を整備し、新町駅利用のための藤岡市側のアクセス動線を確保する。 	<p>【街路】藤岡インターチェンジ北口線事業 【道路】小野小学校通学路歩道整備事業 【道路】市道2260号道路改良事業 【地域生活基盤施設】北藤岡駅自転車駐輪場改善事業 【道路・関連事業】群馬藤岡駅周辺地区バリアフリー事業 【関連事業】市道4520・4535号道路改良事業 【関連事業】市道2461号舗装改修事業 【関連事業】市道206号舗装改修事業 【関連事業】道路照明LED化事業</p>
<p>■整備方針2 災害に強いまちづくりの推進～避難場所の耐震化や浸水対策を強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館の耐震改修工事とバリアフリー化を実施し、災害時の安全な避難所を確保する。 ・道路整備や改良にあわせて雨水排水路等を設置するなど、浸水対策の強化を継続する。 	<p>【地域創造支援事業】北部環状線交差点改良事業に伴う雨水排水路設置工事 【関連事業】中心市街地雨水排水対策事業 【関連事業】藤岡公民館エレベーター設置及び外壁補修事業 【関連事業】神流公民館耐震改修事業 【関連事業】小野公民館耐震改修事業 【関連事業】高山邸跡地活用事業</p>
<p>・</p>	
<p>その他</p>	
<p>【計画の監理】 定期的に事業進捗状況の確認や、事業遂行上の問題点を議論する庁内調整会議を開催する。 また、事後評価実施時に、都市再生整備計画事業の導入による効果発現状況を確認するためのアンケート調査を実施し、今後の事業展開に活用する。</p>	

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	992	交付限度額	396.8	国費率	0.4
---------	-----	-------	-------	-----	-----

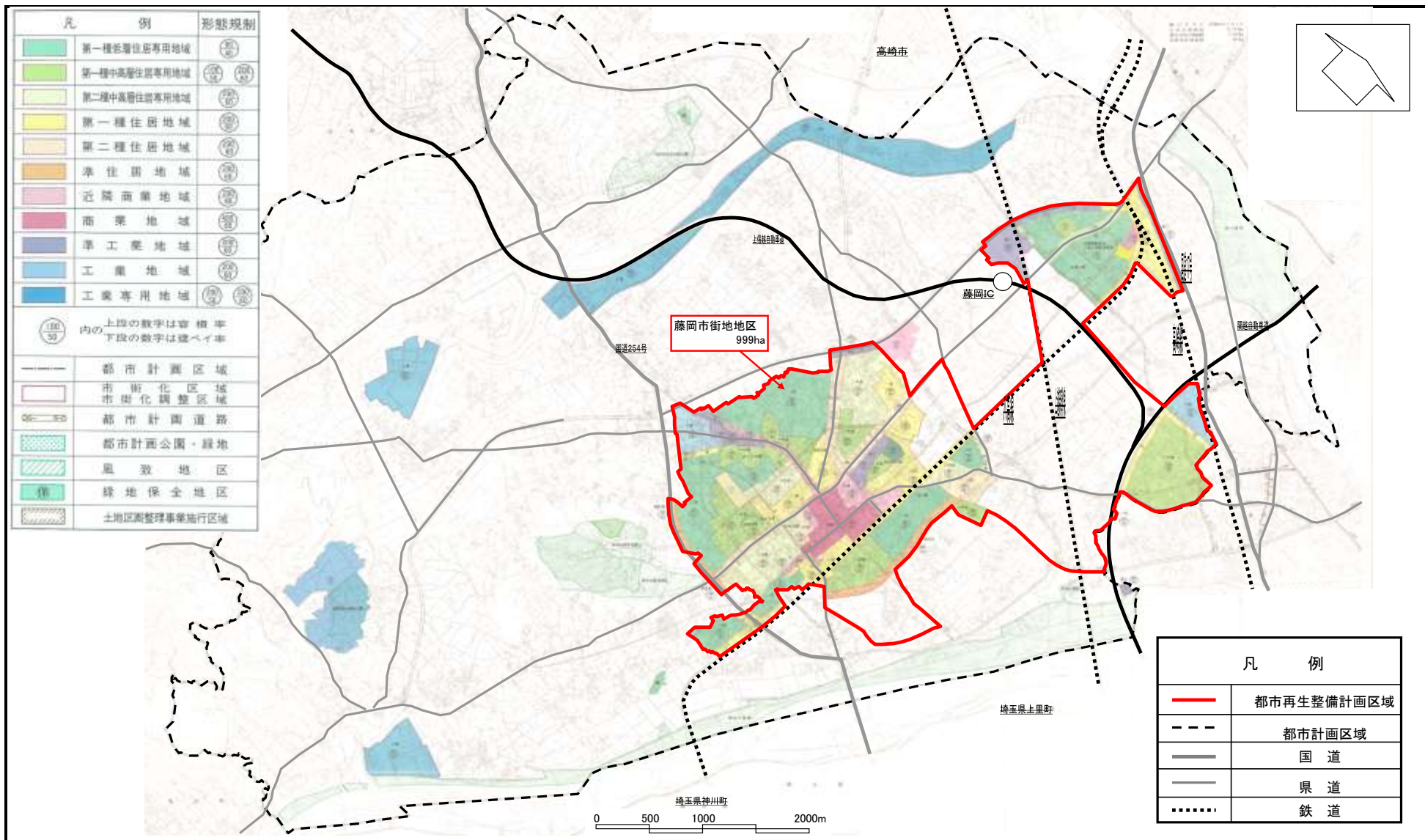
(金額の単位は百万円)

基幹事業		事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
事業	細項目					開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
街路		藤岡インターチェンジ北口線	市	直	W=16m,L=300m	H23	H28	H24	H28	846	830	830	0	830
道路		小野小学校通学路歩道整備事業	市	直	L=80m	H24	H25	H24	H25	60	60	60	0	60
		群馬藤岡駅周辺地区バリアフリー事業	市	直	L=2,020	H24	H28	H24	H28	30	30	30	0	30
		市道2260号道路改良事業	市	直	W=5.5m,L=320m	H24	H26	H24	H26	30	30	30	0	30
公園														
古都及び緑地保全事業														
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム														
地域生活基盤施設		北藤岡駅(駐輪場)	市	直		H24	H25	H24	H25	14	14	14	0	14
高質空間形成施設														
高次都市施設														
既存建造物活用事業														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										980	964	964	0	964
…A														
提案事業		事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
事業	細項目					開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
地域創造支援事業	排水対策事業	北部環状線交差点改良に伴う雨水排水路整備工事	市	直	W=900*900 L=220m	H26	H27	H26	H27	28	28	28	0	28
事業活用調査														
まちづくり活動推進事業														
合計										28	28	28	0	28
													合計(A+B)	992
…B														

都市再生整備計画の区域

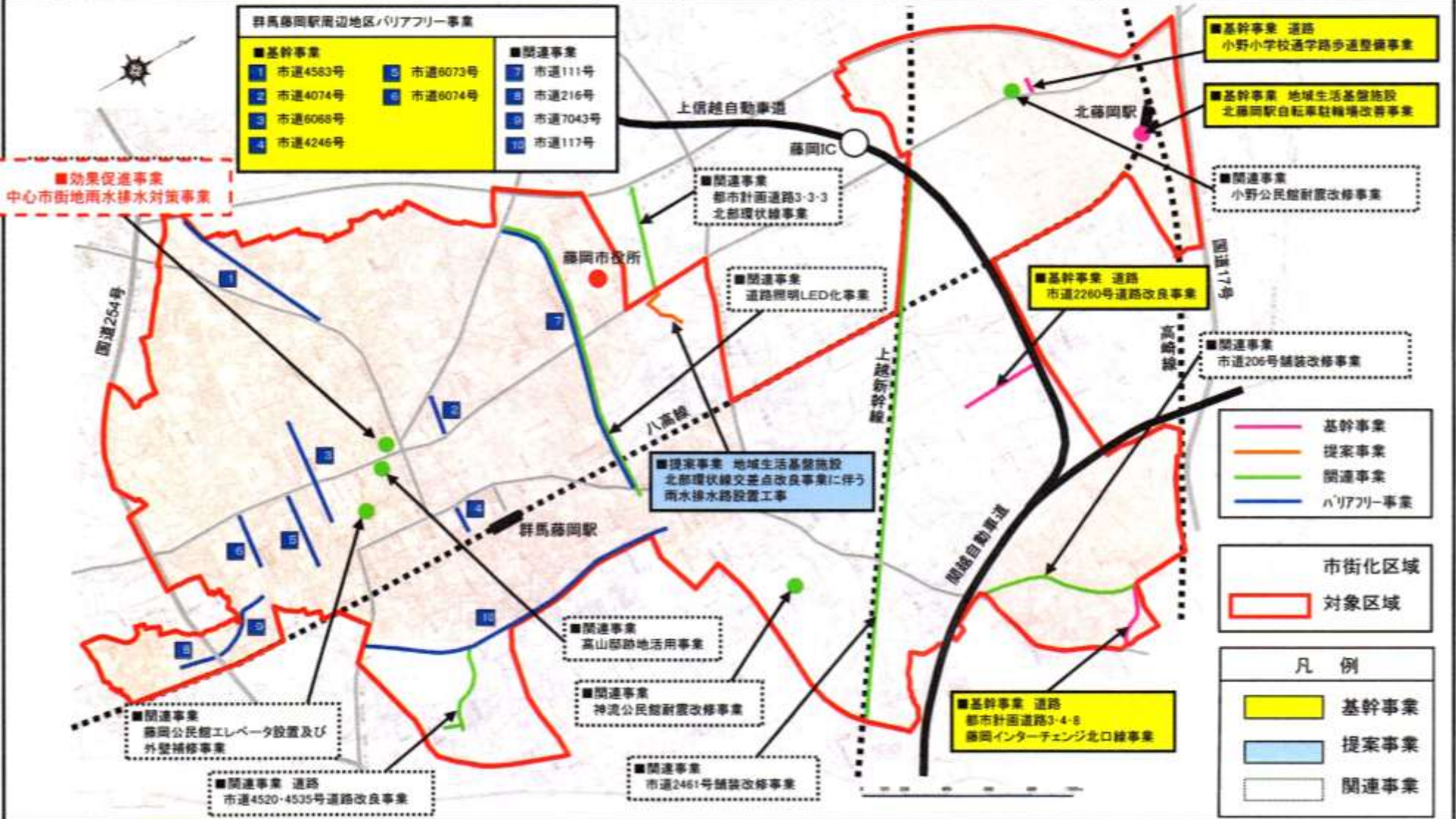
藤岡市街地地区(群馬県藤岡市)

面積	999 ha	区域	藤岡、立石、森、中、岡之郷、上栗須、中栗須、下栗須、篠塚、上大塚、中大塚、下大塚、上戸塚、下戸塚、小林、本郷 (すべて一部)
----	--------	----	--



藤岡市街地地区(群馬県藤岡市)整備方針概要図

目標	大目標: 安心・安全・快適なまち藤岡の形成	代表的な指標	都市計画道路の整備率	(%)	51.4%	(H24年度)	→	52.4%	(H28年度)
	①歩行者や自転車に配慮したまちづくりの推進		公共施設の耐震化率	(%)	60.7%	(H24年度)	→	100.0%	(H27年度)
	②災害に強いまちづくりの推進		排水エリアの面積	(ha)	20.3ha	(H24年度)	→	109.8ha	(H28年度)

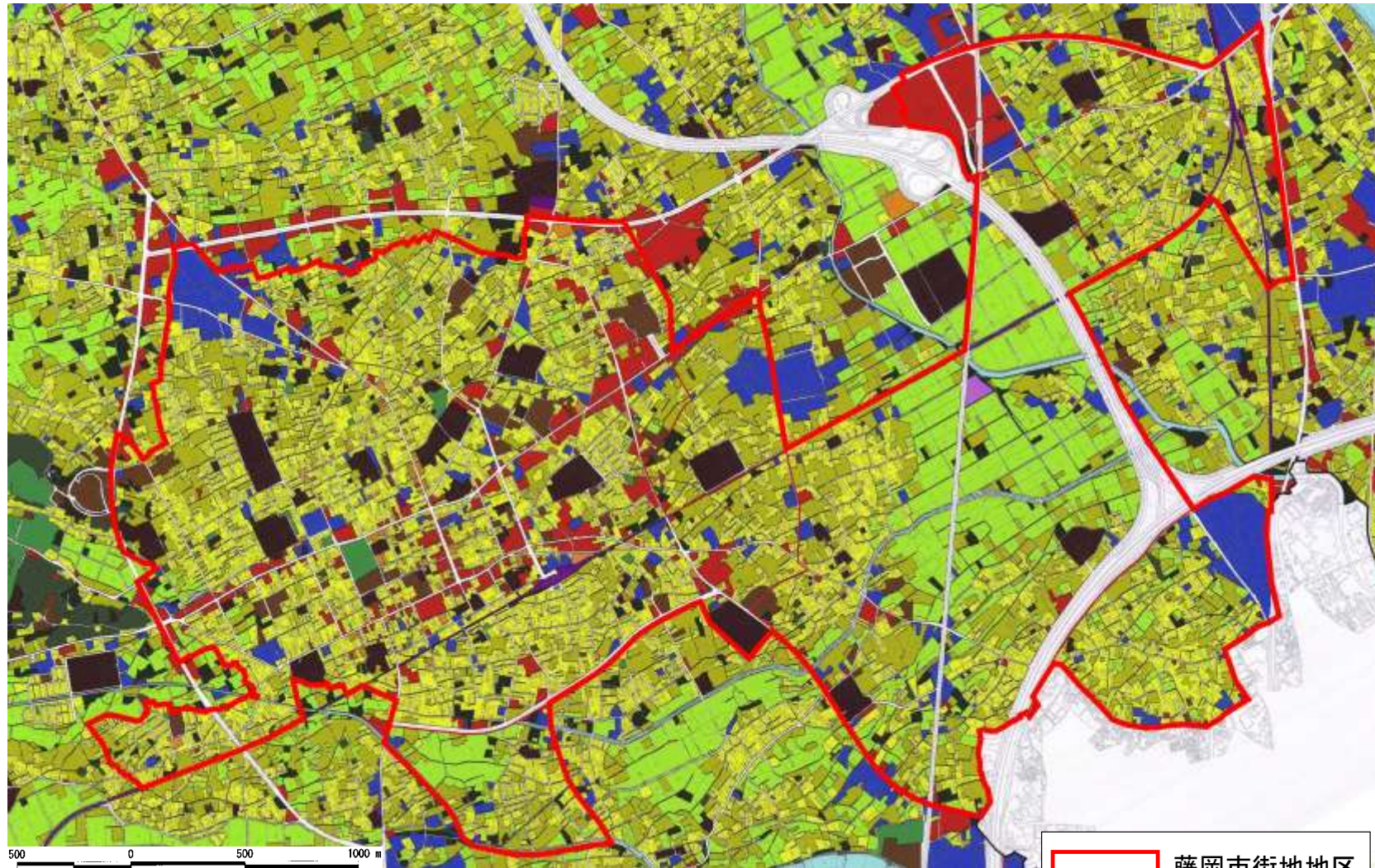


都市再生整備計画の添付書類等


交付対象事業別概要

ふじおかしがいちちく 藤岡市街地地区 ぐんまけん (群馬県 ふじおかし 藤岡市)

藤岡市街地地区(群馬県藤岡市) 現況図



凡例		
農地	田	
	畑	
山林		
水面		
自然地		
住宅用地		
併用住宅用地		
商業業務用地		
工業用地		
公共公益施設用地		
文教厚生施設用地		
公的施設用地		
運輸施設用地		
道路用地		
農林漁業施設用地		
公共空地		
その他の空地		
その他		
行政界		
都市計画区域境界		
市街化区域界		

 藤岡市街地地区
A=999ha

交付限度額算定表(その1)

要綱第5に掲げる式による交付限度額(X)	396.8 百万円	規則第16条第1項に基づく交付限度額(Y)	430,707.0 百万円	X≦Yゆえ、本計画における交付限度額	396.8 百万円
----------------------	-----------	-----------------------	---------------	--------------------	-----------

規則第16条第1項に基づく限度額算定

Au 3,995,844 m²

公共施設の上限整備水準		
区域面積(m ²)		9,989,611
当該区域の特性に応じて国土交通大臣が定める割合	区域の面積が10ha未満の地区	0.50
	最近の国勢調査の結果による人口集中地区内	0.45
	その他の地域	0.40

Cl 357,300 円/m²

単位面積あたりの標準的な用地費	
標準地点数	9
公示価格の平均値(円/m ²)	40,500
単位面積あたりの標準的な補償費	
当該区域内の戸数密度(戸/m ²)	0.002
標準補償費(円/戸)	44,000,000

Cf 23,000 円/m²

控除額 0 百万円

まちづくり交付金とは別に国庫補助事業等により整備する施設

施設名(事業名)	面積(m ²)	国庫補助事業費等(百万円)
合計	0	0

Ap 1730750 m²

公共施設の現況整備水準		
整備水準が明らかになっている類似市街地等からの推定		
推定現況整備水準(小数第2位まで)		
推定公共施設面積(m ²)		0
個別公共施設の積み上げ		
	面積(m ²)	割合
道路	1,672,117	0.17
公園	58,633	0.01
広場	-	-
緑地	-	-
公共施設合計	1,730,750	0.17

Cnを考慮しない場合の交付限度額(Y1) 430707 百万円

ΣCn 0 円

下水道	
区域面積(m ²)	9,989,611
うち現況の供用済み区域面積(m ²)	
標準整備費(円/m ²)	3,600

地域交流センター等の公益施設(建築物) 0 円

上限床面積(m ²)	9,400
標準整備費(円/m ²)	420,500

調整池 0 円

調整池の容積(m ³)	
標準整備費(円/m ³)	140,000

河川 0 円

河川整備延長(m)	
標準整備費(円/m)	3,700,000

住宅施設 0 円

建設予定戸数(戸)		
	超高層	
	一般	
	合計	0
標準整備費(円/戸)		
	超高層	一般
	北海道特別地区	41,310,000 33,500,000
	北海道一般地区	38,190,000 30,990,000
	特別地区	49,120,000 35,690,000
	大都市地区	37,170,000 30,180,000
	多摩市地区	41,510,000 32,370,000
	奄美地区	39,520,000 35,640,000
	沖縄地区	30,280,000 30,280,000
	一般地区	33,700,000 28,640,000

市街地再開発事業による施設建築物 0 円

施設建築物の延べ面積(m ²)	
標準共同施設整備費(円/m ²)	132,000

電線共同溝等 0 円

電線共同溝等延長(m)	
標準整備費(円/m)	680,000

人工地盤 0 円

人工地盤の延べ面積(m ²)	
標準整備費(円/m ²)	5,300,000

協議して額を定める大規模構造物等 0 円

大規模構造物等		
協議状況		整備費(円)

Cnを考慮した場合の交付限度額(Y2) 430707 百万円

要綱第5に掲げる式による限度額算定

交付対象事業費	基幹事業(A)	964 百万円
	提案事業(B)	28 百万円
	合計	992 百万円

[1]式	$\alpha 1=4(A+B)/5=$	794
[2]式	$\alpha 2=10A/9=$	1,071
	交付限度額(X)	396.8 百万円

- 交付要綱第5 3)式の適用[提案事業2割拡充]
- 平成20年度二次補正予算の執行
- 交付要綱第5 4)式の適用[中活等の45%拡充]
- 4)式の適用の場合、経過措置の適用

交付限度額算定表(その2)

交付要綱第5に掲げる式による限度額算定(詳細)

※水色のセルに事業費等必要事項を入力して下さい。(百万円単位)

単位:百万円

○交付対象事業費(必ず入力) (百万円) (百万円)

交付対象事業費	基幹事業合計(A)	964.000	A (事業費)	1)式で求まる額(4/10*(A+B))	396.800	①(国費)
	提案事業合計(B)	28.000	B (事業費)	2)式で求まる額(5/9*A)	535.556	②(国費)
	合計(A+B)	992.000	(事業費)	上記①、②の小さい方	396.800	③(国費)
	提案事業割合(B/(A+B))	0.029		国費率(③÷(A+B))	0.400	④(国費率)

○拡充の有無

以下の3つの拡充のうち、いずれかの拡充がある場合は、該当する欄に○を記入し、事業費等を入力。

・3)式の適用[提案事業2割拡充]		(選択)	⇒	3)式で求まる額(5/8*A)	0.000	⑤(国費)
・平成20年度二次補正予算の執行		(選択)		3)式の適用後(適用がある場合は3式反映)	396.800	⑥(国費)
・4)式の適用[中活等の45%拡充]		(選択)		3)式適用後の国費率(⑥÷(A+B))	0.400	⑦(国費率)

○拡充がある場合の事業費等

平成20年度二次補正の執行がある場合及び4)式の適用がある場合は、以下に事業費等を入力。

平成20年度二次補正 の執行がある場合	防災対象事業(A')		A' (事業費)	③をA'に置き換えた額(A⇒(A-A')+9/8*A')	396.800	⑧(国費)
	補正予算の執行額		(国費)	⇒ 執行額を足した額	396.800	⑨(国費)
				補正適用後(上記⑧、⑨の小さい方)	396.800	⑩(国費)
				補正適用後の国費率(⑩÷(A+B))	0.400	⑪(国費率)

4)式の適用を受ける 場合	計画の認定等の年度末までの執行 事業費(F)		F (事業費)	⇒	適用前の国費率(⑩÷(A+B))	0.400	⑫(国費率)
	適用対象となる交付対象事業費 (A''+B'')	0.000	(事業費)				
	適用対象となる基幹事業合計(A'')		A'' (事業費)	⇒	適用対象事業費から求まる限度額	0.000	⑬(国費)
	適用対象となる提案事業合計(B'')		B'' (事業費)		適用後の国費率(⑬÷(A''+B''))	#DIV/0!	⑭(国費率)
	適用対象事業のうち翌年度以降の 執行业業費(H)		H (事業費)		4)式適用後の限度額(⑫×F+⑭×H)	#DIV/0!	⑮(国費)

※4)式の適用を受ける場合で、経過措置を適用しない場合(H21以降新規地区)は、Fの欄を記入せず、A''、B''を記入し、A''=A、B''=B、H=A''+B''=A+Bとなる。

↓

拡充も考慮した交付限度額	396.800	⑯(国費)
--------------	---------	-------

○交付限度額、国費率の算出

交付対象事業費(A+B)	992	(事業費)	⇒	交付要綱第5に基づく交付限度額 (⑯を1万円の位を切り捨て)	396.8	⑰(国費)
				国費率	0.400	⑱(国費率)

(参考)年次計画

(事業費:百万円)

基幹事業									
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
					道路	街路	(都)3・4・8藤岡インターチェンジ北口線	市	830
	市道	群馬藤岡駅周辺(バリアフリー)	市	30	8	8	8	3	
		小野小学校周辺(通学路)	市	60	24	33	3		
		市道2260号線	市	30	2	18	10		
公園									
古都及び緑地保全事業									
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設		北藤岡駅(駐輪場)	市	14	5	9			
高質空間形成施設									
高次都市施設									
既存建造物活用事業									
土地区画整理事業									
市街地再開発事業									
住宅街区整備事業									
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備促進事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地 総合整備 事業	拠点開発型								
	沿道等整備型								
	密集住宅市街地整備型								
	耐震改修促進型								
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									
計				964	139	268	221	203	133
提案事業									
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
					地域創造 支援事業	雨水排水路設置工事	北部環状線交差点	市	28
事業活用 調査									
まちづくり 活動推進事 業									
計				28	0	0	1	27	0
合計				992	139	268	222	230	133
累計進捗率 (%)					14.0%	41.0%	63.4%	86.6%	100.0%

道路

都市計画道路名 又はその他道路名	区間	道路 区分 <small>注1)</small>	事業 主体	事業 手法 <small>注2)</small>	工種	延長 m	幅員		整備後 車線数 車線	歩道 幅員 m	まち交 事業費 百万円	まち交における 事業期間 (年度)	事業内容 <small>注3)</small>	都市計画 決定 年月	備 考 <small>注4)</small>
							整備前 m	整備 m							
<街路>				-											
藤岡インターチェンジ北口線	岡之郷～岡之郷	街	市	-	新設	300	0.0	16.0	2	3.0	830	H24～H28	道路新設	S49.7	全体延長L=3,360m
<道路>															
群馬藤岡駅周辺地区 バリアフリー事業	—	地	市	-	改良	2,020					30	H24～H28	道路改良(バリアフリー化)		
小野小学校通学路 歩道整備事業	森～森	地	市	-	改良	80	3.7	8.3	1	2.8	60	H24～H25	道路改良		
市道2260号線	岡之郷～岡之郷	地	市	-	改良	320	4.5	6.0	1	2.0	30	H24～H26	道路改良		

(参考)

<関連事業>															
北部環状線	上栗須～中栗須	街	市	-	新設	500	-	25.0	4	3.0	1500	H23～H29	道路新設		
市道2461号線	森～岡之郷	地	市	-	改修	2,600	5.5	5.5	1	-	100	H24～H28	舗装改修		
市道206号線	岡之郷～岡之郷	地	市	-	改修	1,500	4.0	4.0	1	-	18	H27～H28	舗装改修		
市道4520・4535号線	小林～上戸塚	地	市	-	改良	500	2.0	5.0	1	-	50	H24～H26	道路改良		
群馬藤岡駅周辺地区 バリアフリー事業	—	地	市	-	改良	3,070					375	H24～H28	道路改良(バリアフリー化)		

* 本調書にはア)交付対象事業「道路」(街路、地方道、国道、その他)、イ)関連事業道路のすべてを記載すること。

注1) <道路>については、街、地、国、他の別を記載。

<関連事業>については、国、主、一、市の別を記載。

ただし、街:街路、地:地方道(市町村道)、国:国道、主:主要地方道、一:一般都道府県道、市:市町村道、他:いずれにも該当しないもの

注2) <関連事業>について通、交、地特、単独、促の別等を記載。補足説明すべき点は備考欄に説明を記載。

注3) 施設の構造、工法、及び地方道事業においては細工種、街路事業においては沿道区画整理型街路事業等の事業名

注4) 備考には現在の道路状況を把握するために必要なその他の事項で、交通量(人/日)、混雑度等を記載

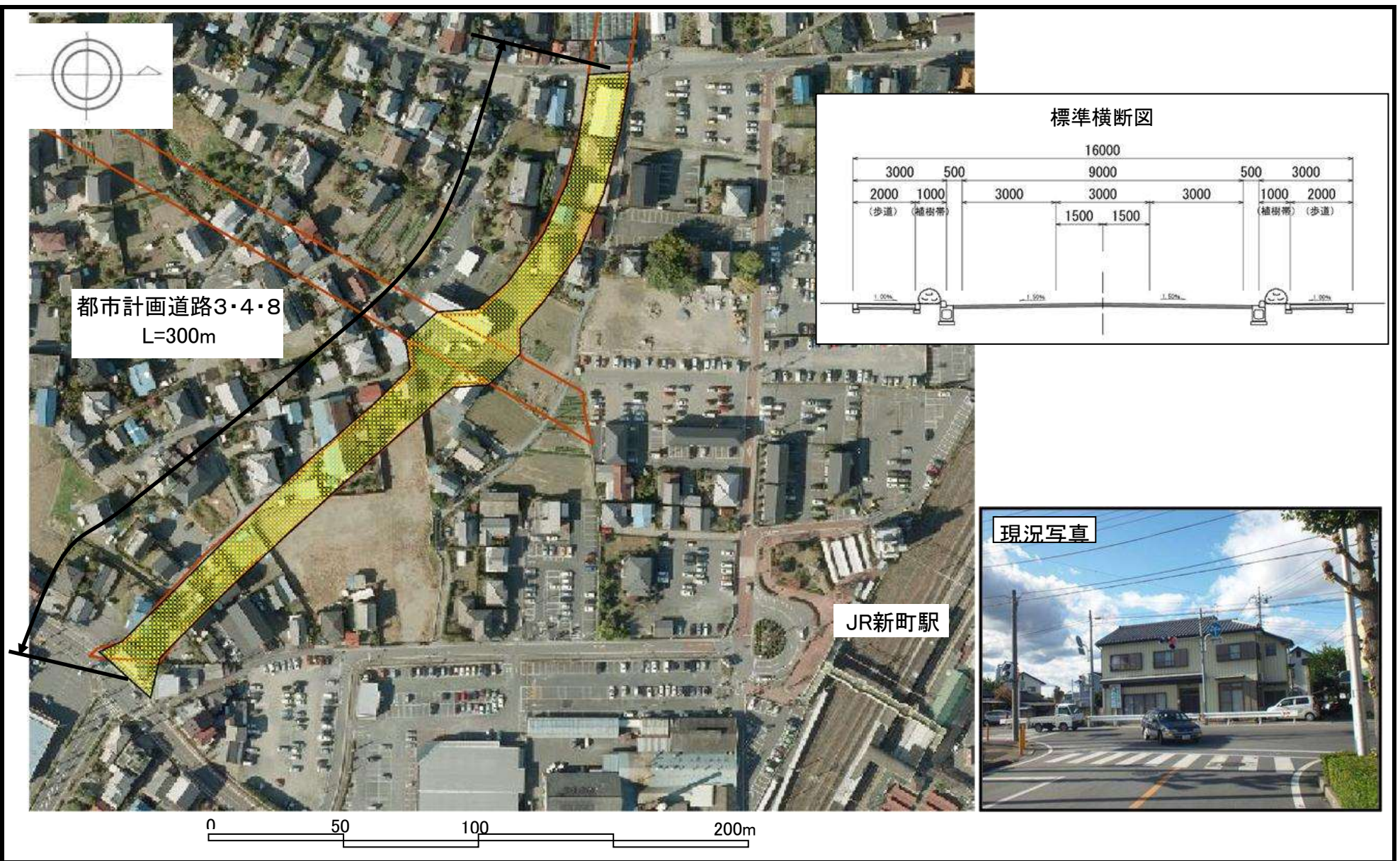
(例)・道路改築:交通量(人/日)、混雑度等

・自転車駐車場:都市計画決定の有無、面積、利用台数等

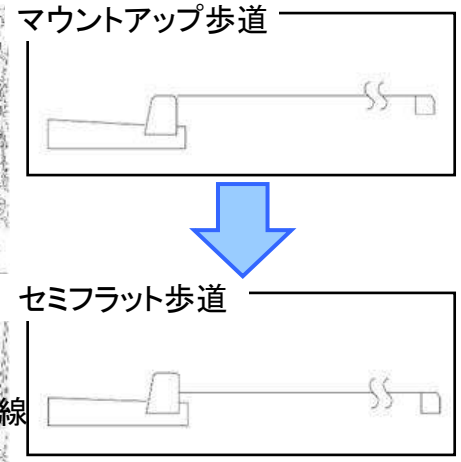
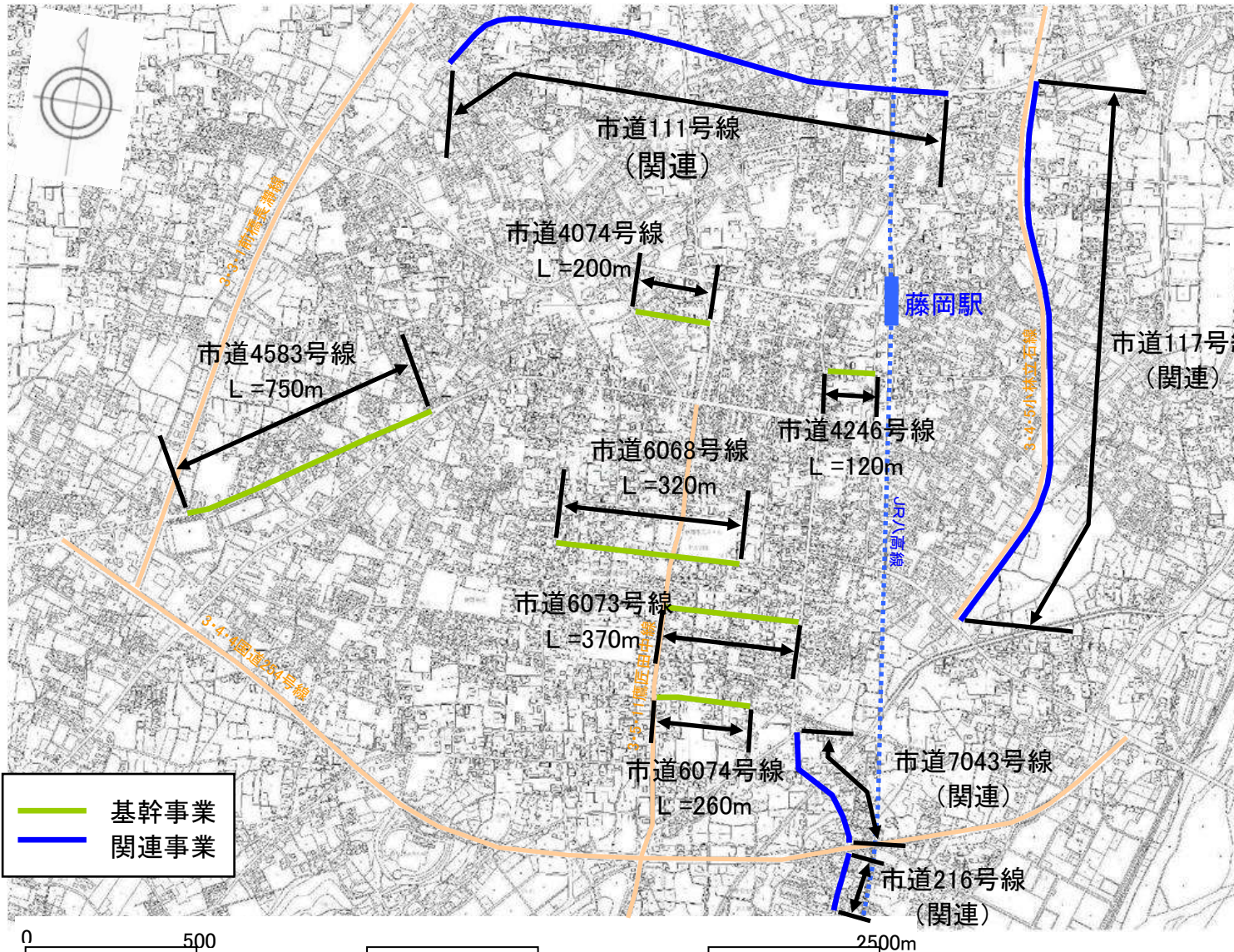
* 交付対象事業「道路」を「身近なまちづくり支援街路事業」等のいわゆるグレードアップ事業として実施する場合は、それらの計画様式を次頁以降に添付すること。

* 不足する場合は適宜行を追加すること

【街路】 都市計画道路3・4・8藤岡インターチェンジ北口線 設計図

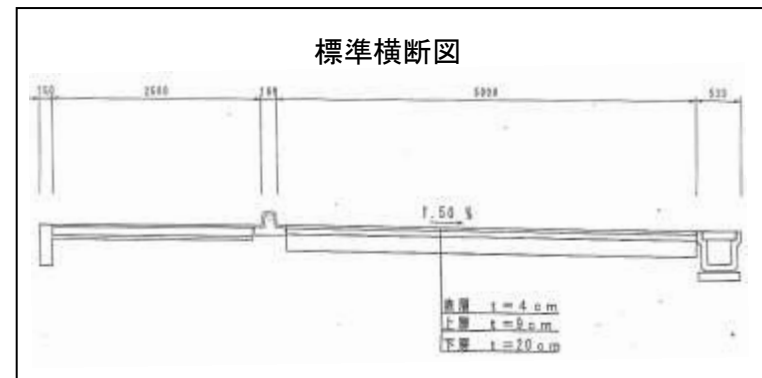


【道路】 バリアフリー事業 設計図

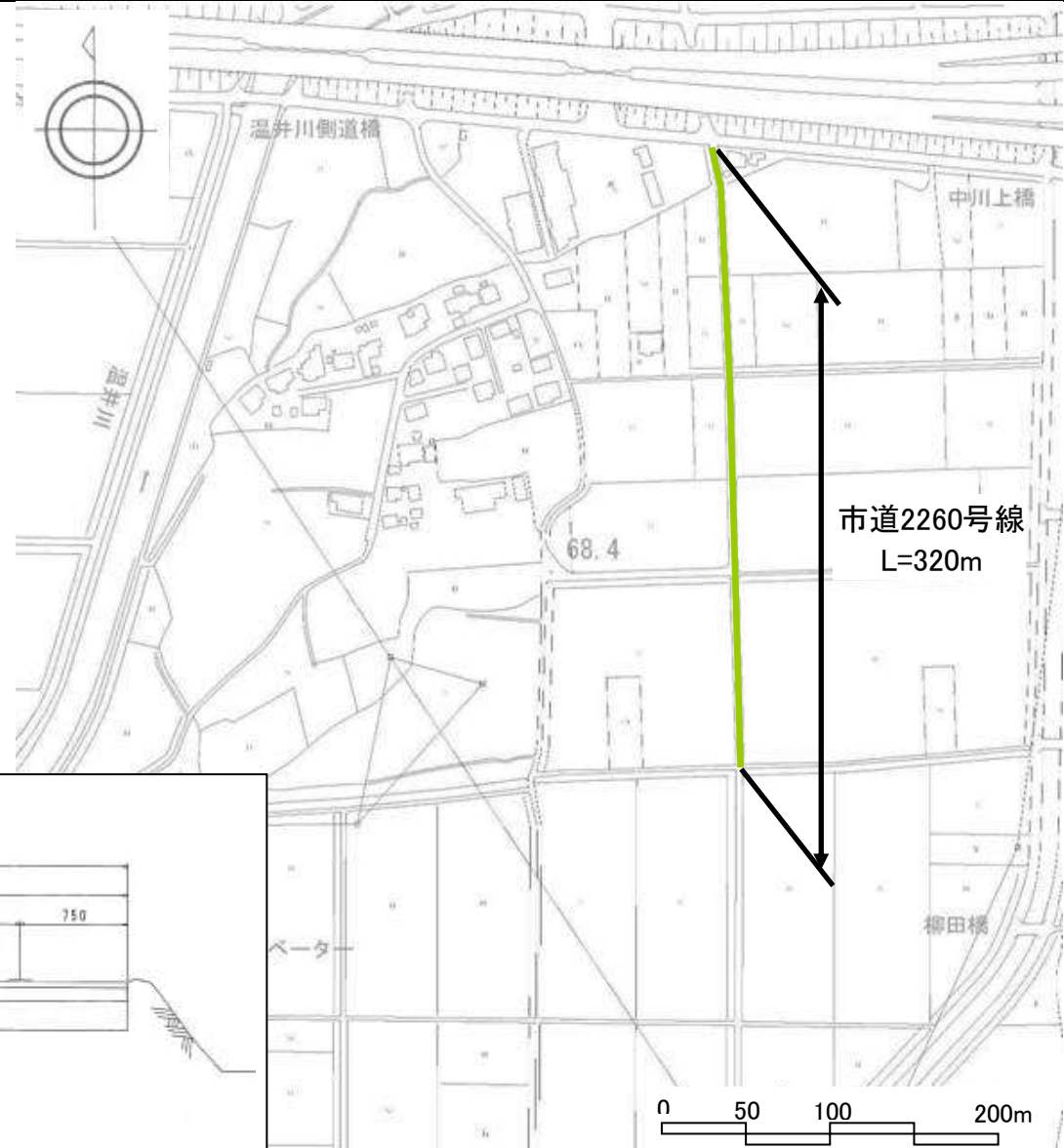


— 基幹事業
— 関連事業

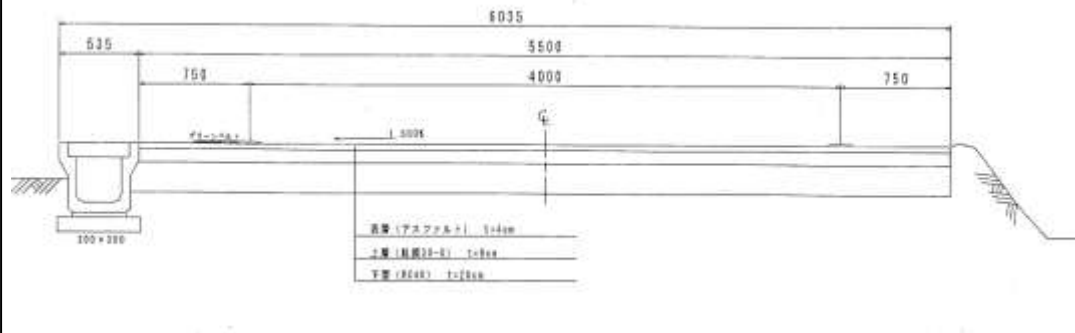
【道路】 小野小学校通学路歩道整備事業 設計図



【道路】 市道2260号線 設計図



標準横断面



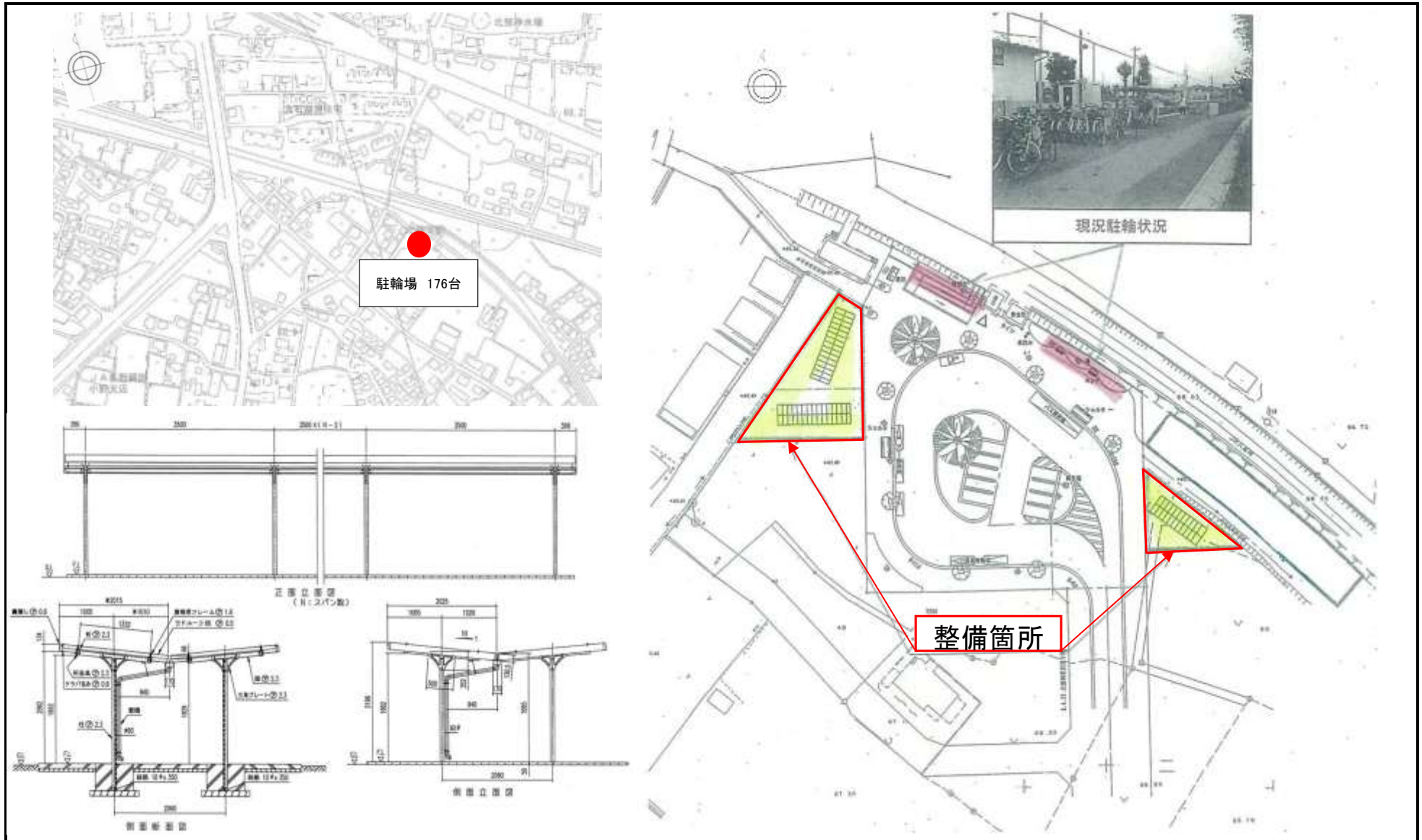
地域生活基盤施設

単位:百万円

交付対象施設	施設名 (路線名等)	事業主体	概要 (面積、幅員、 延長、規模等)	交付期間内 事業費	交付期間内事業費内訳				備考
					設計費	用地費	施設整備費	うち購入費	
緑地								—	
広場								—	
駐車場									
自転車駐車場	北藤岡駅前(駐輪場)	市	平置き式3棟176台	14	0	7	7	3	都市計画決定:無 その他計画による 位置付け:無
荷物共同集配施設									
公開空地								—	
情報板								—	
地域防災施設	施設種別:							—	
合計	—	—	—						

- ・施設名ごとに1行ずつ記入。足りない場合は、適宜行を追加すること。
- ・「事業主体」欄には、事業の施行者を記入。(間接交付の場合は、交付金事業者ではなく、「第三セクター」等の施行者を記入。)
- ・「駐車場」、「自転車駐車場」については、「概要」欄に、形式(立体〇層、タワーパーキング、地下駐輪場等)、面積及び駐車台数を記入。
- ・駐車場については、「備考」欄に駐車場全体の整備に要する費用を記入。
- ・自転車駐車場については、「備考」欄に都市計画決定の有無、自転車駐車施設整備計画における位置づけの有無、自転車駐車場に関する附置義務条例等における位置づけの有無を記入すること。
- ・地域防災施設の「施設名」欄には、耐水性貯水槽、備蓄倉庫、放送施設、情報通信施設、発電施設、排水再利用施設、避難空間等の施設の種別を記入。
- ・共同駐車場については、別の所定のシートに記載すること。

【地域生活基盤施設】 北藤岡駅自転車駐輪場 設計図



【地域創造支援事業】 北部環状線交差点改良工事に伴う雨水排水路設置工事 設計図

